

## 人工知能と人間社会に関する懇談会の開催について

平成 28 年 5 月 30 日  
内閣府特命担当大臣（科学技術政策）  
決 定

### 1. 趣旨

第 5 期科学技術基本計画で掲げた Society 5.0 の実現の鍵である人工知能の研究開発及び利活用を健全に進展させるべく、人工知能と人間社会の関わりについて検討を行うため、内閣府特命担当大臣（科学技術政策）の下に「人工知能と人間社会に関する懇談会」（以下「懇談会」という。）を開催する。

### 2. 構成

- (1) 懇談会は、別紙に掲げる者により構成する。ただし、内閣府特命担当大臣（科学技術政策）が必要と認める場合には、構成員を追加することができるほか、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。
- (2) 内閣府特命担当大臣（科学技術政策）は、構成員の中から座長を指名する。

### 3. 検討事項

倫理、法、制度、経済、社会的影響など幅広い観点から人工知能が進展する未来の社会を見据えて、国内外の動向を俯瞰して、人工知能と人間社会の関わりについて今後取り組むべき課題や方向性を検討する。

### 4. 公開

懇談会は原則公開とする。ただし、座長が懇談会を公開しないことが適当であると認めるときは、この限りではない。

### 5. 庶務

懇談会の庶務は、内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）において処理する。

### 6. その他

前各項に定めるもののほか、懇談会の運営に関する事項その他必要な事項は、懇談会において別に定める。

## 検討項目

1. 倫理的論点：人間の尊厳を尊重した人工知能について
  - 意識や心を持つ人工知能の扱い
  - 人間の意思決定や信念の形成に関する人工知能の扱い など
2. 法的論点：人工知能による豊かな人間社会形成のための法的課題について
  - 人工知能やその利活用の法的位置づけ など
3. 経済的論点：人工知能の経済的恩恵について
  - 産業構造や就業形態等の経済への影響 など
4. 社会的論点：人工知能が受容される社会について
  - 豊かな人間社会に貢献する人工知能 など
5. 研究開発的論点：
  - 人工知能の研究開発に当たり考慮すべき項目 など
6. その他：
  - 上記のいずれにも該当しないが、人工知能と人間社会の関わりを検討する上で重要な項目

## 構成員名簿

原山 優子	総合科学技術・イノベーション会議 議員
新井 紀子	国立情報学研究所 教授・社会共有知研究センター長
江間 有沙	東京大学教養教育高度化機構 特任講師
大内 伸哉	神戸大学大学院法学研究科 教授
新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部 教授
鈴木 晶子	京都大学大学院教育学研究科 教授
西川 徹	株式会社 Preferred Networks 代表取締役社長・最高経営責任者
橋本 和夫	早稲田大学研究戦略センター 教授
林 いづみ	桜坂法律事務所 弁護士
松尾 豊	東京大学大学院工学系研究科 特任准教授
柳川 範之	東京大学大学院経済学研究科 教授
若田部 昌澄	早稲田大学政治経済学術院 教授

### オブザーバー

内閣官房 IT 総合戦略室  
内閣府 知的財産戦略本部  
総務省  
文部科学省  
厚生労働省  
農林水産省  
経済産業省  
国土交通省

# 人工知能と人間社会に関する懇談会 検討スケジュール

	2016年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年	2018年	2019年	2020年	
懇談会	▲ 第1回 各構成員 からの プレゼン	▲ 第2回 専門家 からの プレゼン	▲ 第3回 専門家 からの プレゼン	▲ 第4回 論点整理	▶				▲ 2016年度内 取りまとめ	▶			
その他	▲ 2-4日 STSフォーラム 第13回年次総会 (国際科学技術関係大臣会合)								▲ 科学技術 イノベーション 総合戦略 2017	▲ 科学技術 イノベーション 総合戦略 2018	▲ 科学技術 イノベーション 総合戦略 2019	▲ 科学技術 イノベーション 総合戦略 2020	
									▶ 国際機関との連携			▶	
第5期科学技術基本計画												4	